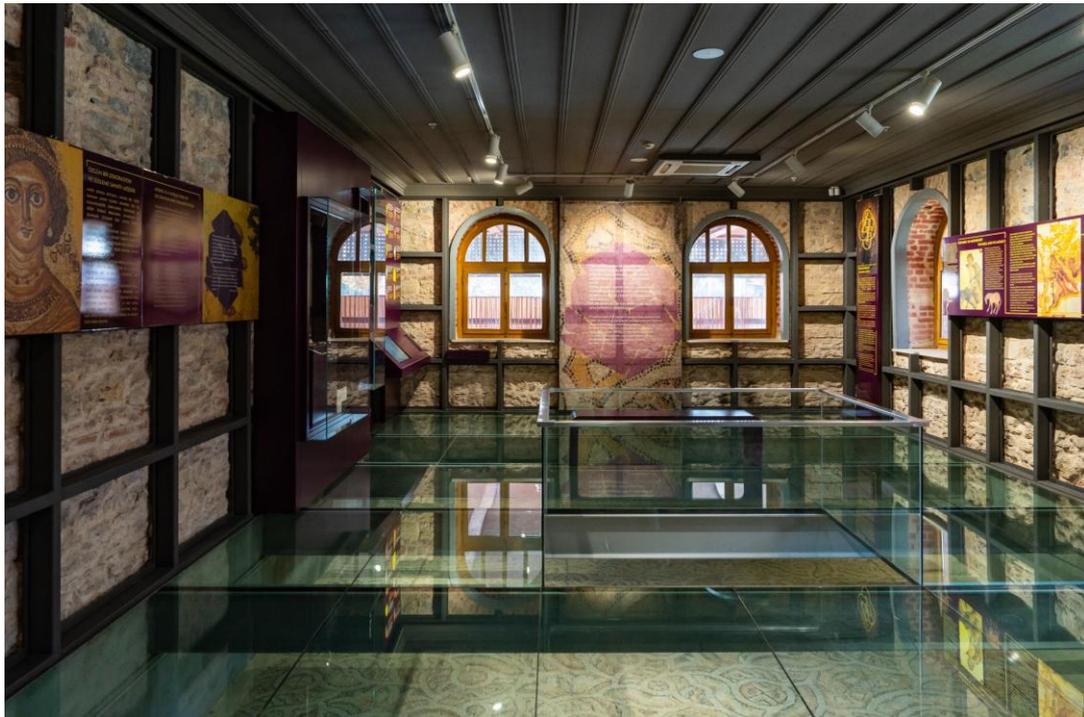


報道関係者各位

2026年2月26日
トルコ共和国大使館 文化観光局

イスタンブールのカルチャーを楽しむ
壮麗なモザイク遺産 ゼイティンブルヌ・モザイク博物館と
新作オペラ「エドゥサ」へ



ゼイティンブルヌ・モザイク博物館 館内

古代の床や壁を彩るモザイクは、単なる装飾にとどまらず、神話的な場面を超えて当時の社会生活や文化を映し出す貴重な資料であり、石と色彩を通じて過去を鮮やかに蘇らせる特別な存在です。数千年にわたり数多くの文明を受け入れてきたトルコは、世界有数の傑作を含む独自のモザイク遺産を誇り、これらのモザイクは国内各地に点在し、まるで世界遺産が織りなす“生きた美術館”のような空間を創り出しています。

この類まれで美しい遺産は、いまやイスタンブール中心部の最新のミュージアムでもご覧いただけます。歴史文化の愛好家にとって隠れた名所で、市の歴史的城壁の外側に広がる最大級のモザイク遺構のひとつである、[ゼイティンブルヌ・モザイク博物館](#)では、思いがけない場所から歴史が姿を現します。

地中からよみがえった遺産

かつての軍病院を改装したカズルチェシュメ・アートセンター内に位置するゼイティンブルヌ・モザイク博物館は、イスタンブールを訪れる歴史愛好家必見のスポットです。展示されている印象的なモザイクは、2015年の修復工事中に地表から約1.5メートルの深さで発見され、その後直ちに修復・保全の対象とされました。2019年、建物内の床に見られる幾

何学模様が外部へと広がっている可能性を踏まえ、イスタンブル考古学博物館の監督のもとで、発掘調査が行われました。その結果、モザイク模様の続きが確認されただけでなく、二人の遺骸が納められた大理石製の石棺も出土し、予想を超える重要な発見となりました。ゼイティンブルヌ・モザイク博物館は、壮麗なモザイクを発見当時の状態のまま展示し、本来の配置や歴史的背景を感じながら鑑賞できる、イスタンブルを代表する文化拠点です。館内では、モザイクにとどまらず、多彩で魅力あふれる歴史的遺物の数々が、来訪者の発見を待っています。



館内のモザイク

上から眺めるモザイクの世界

ゼイティンブルヌ地区にある、美しく修復された赤レンガ造りのオスマン時代の博物館建物内では、広大なモザイクエリアがその壮麗さをもって来館者を迎えます。発見当時のモザイクの上に設けられた高架ガラス床を歩きながら、オプス・テッセラトゥム (opus tessellatum) 技法で制作されたモザイクを鑑賞し、後期ローマ美術や東ローマ初期の芸術の魅力に触れることができます。

紀元4～5世紀にさかのぼり、地元ローマ時代の邸宅の一部と考えられるこの多彩なモザイクは、幾何学模様や星、多角形の構成、花のモチーフなど、多様な装飾で彩られており、優美なパターンの世界を歩きながら、当時の美意識や物語に触れ、イスタンブルの重層的な歴史を静かに巡る旅に誘われます。訪れるたびに新たな発見があり、何度でも足を運びたい魅力に溢れた場所です。



上から眺める ゼイティンブルヌ・モザイク博物館

モザイクだけではない魅力

約190平方メートルに広がる壮大なモザイクに加え、館内で発見された考古学的遺物も見逃せません。大理石の石棺やレンガ造りの墓、人骨をはじめとした出土品は非常に印象的で、訪れる人を圧倒します。さらに、この地で長きにわたり営まれてきた生活の歴史を物語る、テラコッタ製の陶器や様々な時代の貨幣も展示されています。

これらの貴重な発見によって、来館者に豊かな体験を提供するだけでなく、本博物館は図書館や展示ホールなど多彩な文化空間を備え、地域の文化活動を活性化させる拠点としても機能しています。モザイクや魅力的な展示を堪能した後は、ぜひ館内のその他施設もご覧ください。

【施設概要】

名称：ゼイティンブルヌ・モザイク博物館 (Zeytinburnu Mosaic Museum)

開館時間：10:00～18:00 (月曜休館)

アクセス：イスタンブル・ゼイティンブルヌ地区、カズルチェシュメ・アートセンター内

イスタンブルの物語は舞台へ オペラ『エドゥッサ』が描くりディア王国の記憶

イスタンブルの地層に眠る歴史を五感で体験する旅は、博物館の枠を越えて舞台芸術の世界へと続きます。2026年3月28日(土)、イスタンブルの文化の象徴であるアタテュルク文化センターにて、新作オペラ『エドゥッサ』が上演されます。

本作は、ヒッタイトやフリギア、ウラルトゥ、イオニア諸都市など、数々の文明が交錯したアナトリア西部を支配したり

ディア王国を舞台としています。作曲ギュルディヤル・タヌルダール、台本イスケンデル・パラの手によるこの作品は、リディアの伝説的な富や政治的緊張、そしてその陰でうごめく人間模様を描き出し、アナトリアの悠久の記憶を舞台上に鮮やかに蘇らせます。

『エドゥッサ』が観客に投げかけるのは、社会の真の力は物質的な富ではなく、世代を超えて受け継がれる「文化」にこそあるという力強いメッセージです。これは、かつての遺構を現代の文化拠点へと再生させたゼイティンブルヌ・モザイク博物館の精神とも深く共鳴します。モザイクに刻まれた古代の息吹を体感した後は、オペラを通じてその歴史に命が吹き込まれる瞬間に立ち会ってみてはいかがでしょうか。

チケット情報や公演の詳細は、下記のリンクよりご確認ください。

<https://goturkiye.com/whatson/edusa-bir-anadolu-hikayesi>

トルコについて

トルコはアジアとヨーロッパを結ぶ要所として、何世紀にもわたり文化的な交流と多様性の拠点と考えられてきました。多様な文明が反映された歴史、遺跡、自然や美食を有し、多目的なデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッションをはじめ、ダイナミックなショッピングやエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。2025年には全世界から過去最高の約6,400万人の観光客が訪れました。2023年にトルコ共和国として建国100周年、2024年には日本との外交関係樹立100周年を迎えました。

トルコの詳細は公式ウェブサイト (<https://goturkiye.jp/>) または以下の SNS をご覧ください。

Facebook: <https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp>

X(Twitter): https://twitter.com/GoTurkiye_jp

Instagram: https://www.instagram.com/goturkiye_jp/

YouTube: <https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp>

トルコ観光広報・開発庁 (TGA) について

トルコ観光広報・開発庁 (TGA) は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的な分野を発見・改善・確立していきます。

<本リリースに関するお問い合わせ>
トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店
キャンドルウィック株式会社 (傳[フ]、大村)
Email: t-turkiye@candlewick.co.jp
Tel: 03-6261-6050 Fax: 03-6261-6051